

焼津市の子育てサポートサービス

「ファミリー・サポート・センター」って
どんなところ？ 聞いてみました！

- Q** どんなことを行っていますか？
- A** 子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と行いたい人（提供会員）をマッチングする事業を行っています。利用には依頼会員、提供会員ともに会員登録が必要です。利用料は日時によって異なりますが、1時間600円～800円です。
- Q** どのような時に利用できますか？
- A** 保育施設や放課後児童クラブへの迎えとその後の預かり、習い事への送迎、上の子の学校行事に参加する際の下の子の預かりなどで利用することができます。共働き世帯で定期的に利用されている方もいます。子どもは、大人から大人への引き渡し原則となっていますので、保育施設や学校にも協力していただいています。
- Q** 急に利用することはできますか？
- A** 事前の会員登録が必要になりますので、急な利用はできません。また、双方が初対面の場合、依頼会員とその子ども、提供会員の全員が安心して過ごせるように、子どもも同席のもと、活動前に必ず事前打合せをしていただきます。
- Q** どのような人に利用してほしいですか？
- A** 子どもが生まれたら、まず登録だけでもいいので、センターにお越しください。子育て支援センターに併設されているので、子育て中の方には気分転換にもなると思います。また、焼津に引っ越してきたばかりの人や近くに身内や頼れる人がいない人などに利用していただきたいですね。
- 現在、子育ての援助を行う「提供会員」を大募集中です！
興味がある方はセンターまで、お問い合わせください。
- ファミリー・サポート・センター 大覚寺3-2-2
(ウェルシップやいづ2階 子育てサポートルーム内)
☎054-620-3339 ホームページ▶▶

他にもこんなサービスがあります。
ぜひご利用ください。

- 1** 「子育て応援隊 派遣事業」
- 妊娠中や産後に、育児や簡単な家事をお手伝いする「子育て応援隊」を派遣します。
対象：妊娠中の方、または3歳未満の子どもの育てている方
利用料：1回2時間につき500円
利用できる時間や回数、申込方法は右のQRコードを参照してください。
- 2** 「焼津市子育て応援サイト」
- 焼津市のパパ、ママを応援する子育て応援サイト。妊娠・出産から小学校卒業までに役立つ情報を掲載しています。
各種手当や助成制度、子育てや発達に関する相談窓口一覧もこちらからアクセスできます。
- 3** 「焼津市LINE公式アカウント」
- 焼津市に関する様々な情報をお届けしている、焼津市LINE公式アカウントです。「子育て」分野を受信設定すると、子育てについてのお知らせやイベント開催案内の情報を受け取ることができます。
子育て以外にもごみ収集日や防災情報など、希望の分野を登録することができます。
- 問合せ ①②子育て支援課 ☎054-626-1137
③シティセールス課 ☎054-631-6849

育休パパに聞く!!



男性が育休を取る割合が、世界に比べるとまだまだ低い日本。言い出しにくい、仕事を抜けられない、まわりの男性が取っていない...など、そこにはさまざまな壁があります。「育休をとったパパ」の生の声に触れる機会が少ないことも、理由のひとつかも知れません。
そこで今回は、現在育休中のおふたりにインタビューをしました。「将来的には取ってみたい」「興味はあるけど不安もある」そんな風に考えている男性へのメッセージになればと思います。

会社員

しんむら たかひろ
新村 隆寛さん (30歳)



家族構成：妻、子ども3人（長男5歳、長女1歳4か月、次男1か月）
育休期間：長女の時に1か月、次男の時に4か月（2022年9月～）

●育休取得は自然の流れ

職場では育休経験者の男性が多く、妻が第2子を妊娠したことを報告した時に上司からどうするのかを聞かれました。女性はもちろんですが男性も1～3ヶ月取っていて、上司からは制度があるから使った方がいいよという言葉をいただき、自然な流れで取ることができました。



長男の時には仕事の都合上育休をとることができず、妻に任せきりになってしまったこともあり、妻も育休には賛成でした。

●成長するのは子どもだけではない

育休を取るまでは家事・育児はほとんどやっていなかったのですが、1日があつという間に終わることに驚きました。育児をしながら家事をするのが大変だったので、最初は抵抗のあった抱っこひもも使ってみたら案外、最近積極的に使っています。
育休が終わってからもできることは

やるようになりました。主に皿洗いや風呂掃除ですが、朝はやることが多いので洗濯もやります。それでも、もっと負担を減らせるのではないかと考えることもあります。

●「今」を大事にするために

育休の間は社内全体でカバーし、足りない分を誰かが動いてくれていることはもちろん理解しています。職場によって環境はちがうと思いますが、子どもが生まれる男性には、育休をぜひ取ってほしいと思います。子どもは1日1日成長していき、小さい頃は今しかない大事な時間だということを感じてもらいたいです。



何事も先駆者は大変な思いをします。私は上司に報告した時の「おめでとう」の一言が嬉しくて、気持ちが楽になりました。難しいとは思いますが、育休を取りやすい環境を作ってもらいたいですね。

●妻からひとこと！

子どもの遊び相手や家事を一通りやってくれて助かりました。中でも洗濯は、柔軟剤にこだわったりペラペラで音楽をかけたりと毎日楽しそうでした。
育休を取ったことで長男は特に夫と過ごす時間が増えました。寝る前の仕上げ歯磨きも「パパにやらせよう！」と言うことが多くなりました。
夫と協力して家事育児をすることで私にも時間と心の余裕が生まれ、長男の心のケアにも集中できて寂しい思いをさせずに済んだと思います。

保育士

ますだ ともあき
増田 智昭さん (33歳)



家族構成：妻、子ども1人（長女2歳6か月）
育休期間：1年間（2022年4月～）

●きっかけは...

娘が誕生して2年間は妻が育休をとりました。正直娘が可愛くて、ずっと一緒にいたいと思ったのが、育休を取ろうと思った一番のきっかけです。
保育の仕事に関わっているのでも、娘と毎日一緒に過ごすことで、母親目線で色々なことが見え、それが今後の仕事にも活かせると感じたのも理由のひとつです。
今まで職場の男性で長期の育休を取った方はいませんでしたが、園長も積極的に取った方が良く背中を押してくれました。



●「家事」と「育児」の両立の大変さ

育休前は、帰宅してから夕飯、お風呂、寝かしつけなどのサポートがメインで、触れあう時間は少なかったです。今はいつも家事と育児が同時並行、その大変さを実感しています。妻からのアドバイス

もあり、少しずつ効率よくできるようになってきましたが、世の中のお母さんってすごいなぁと改めて思いました。仕事に復帰した時には、実体験を通して子育て中のお母さんの気持ちに寄り添えるのではないかと思います。

●子どもとの時間はたからもの

仕事柄、子どもと接するのは好きですが、やはり自分の子は格別です。2度と取り戻せない「今」を我が子とじっくり過ごせるのが育休の醍醐味だと思います。この経験は一生の思い出として残る価値ある時間です。
育休を取るにあたっては、職場にも上司にも恵まれていたと思います。同僚も共感し後押ししてくれました。
事業者の方には「育休取得という選択肢があること」を伝えることで、取得しやすい環境が進むのではないかと思います。

●妻からひとこと！

何よりも、我が子を家でゆっくりと育てられていることに感謝しています。復帰するにあたり、家事や育児の心配をすることなく、自分の仕事に集中できることはありがたいし、安心感があります。
また楽しいことも大変なことも子育てのすべてを、夫と共有できて嬉しいです。



教えて!カエルくん

子どもと一緒に作れる
簡単おやつを紹介するよ!

安倍川もち風マカロニ

【材料】(5歳児1人分)
マカロニ...15g ☆きな粉...7g (大さじ1)
☆砂糖...5g (大さじ1/2) ☆塩...0.1g

- ①マカロニを時間通りに茹でる。
(マカロニの種類や形は好みで)
- ②茹でている間に☆の材料を混ぜ合わせておく。
- ③茹でたマカロニを☆と和えたら、できあがり。

ポイント! マカロニは茹で時間より1分長く茹でると冷めても硬くなりにくいよ!

黒蜜をたらしたり、きな粉をココアやシナモンに変えてもおいしいよ!
年齢に合わせて量を調整して作ってみてね!



保育園でも大人気!



11月12日～25日は
「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

性犯罪・性暴力で悩んでいる方へ、一人で悩まず、相談してください。
年齢・性別は問いません。

電話で相談

内閣府 性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891

DV相談ナビ #8008

警察庁 性犯罪被害相談電話 #8103

SNSで相談

内閣府 性暴力に関するSNS相談「Cure time」(キュアタイム)

パープルリボンが女性に対する暴力根絶のシンボルマークです。内閣府 性暴力対策 検索

「焼津市役所 こども相談センター」でもDV・虐待について相談することができます。
☎ 054-626-1165
✉ kodomosoudan@city.yaizu.lg.jp

編集後記

仕事や家庭に対する考え方が多様化し、子育てに協力的な男性が増えてきたもののまだまだ男性の育休取得は当たり前にはなっていません。今回の法改正によってもっと多くの男性たちが堂々と育休を取得できる社会になってほしいと思います。㊦

子育てをする上で頼れるパートナーがいれば喜びは2倍に、大変なことは半分になり、なにより精神的に安定して子どもと向き合うことができると思います。法改正をきっかけに子育てに優しい社会になってほしいです。㊦